

日本文化研修で「芦屋釜の里、芦屋歴史の里資料館」へ行きました。

九州共立大学所属および九州女子大学所属の短期留学生 15 名と九州共立大学の留学生 2 名は、6 月 9 日（木）に「芦屋釜の里」と「芦屋歴史の里資料館」へ日本文化研修に出かけました。

まず、「芦屋釜の里」で茶室や日本庭園を見学しました。学生達は、自然の美しさを表現した日本庭園にすっかり魅了された様子でした。その後、毛氈に正座し、福原学園キャンパス市民ボランティアの茶道ボランティアのみなさんから、お辞儀の仕方やお抹茶のいただき方を習い、季節を映した和菓子と一緒に抹茶をいただきました。初めて抹茶をいただいたという学生が多く、初めてのお抹茶の苦みに戸惑いの表情をのぞかせながらも、甘みのある和菓子との調和に驚き、感動していました。また、茶室や茶器だけではなく、所作までも美しく素晴らしいと感じたそうです。



その後、「芦屋歴史の里資料館」では、400 年前に途絶えた茶の湯の釜「芦屋釜」作りの伝統の技や釜の高価さ、芦屋周辺の海で発掘された品々や中国・韓国との関係についてなどを説明していただき、大変重厚な歴史を実感しつつ帰校しました。

今回の研修で、慣れない正座に苦戦した学生もいましたが、これも日本文化の貴重な体験となったようです。茶道という日本の代表的な伝統文化に触れる事ができ、とても良い時間を過ごすことができました。